

愛知大学 3つのポリシー（2024年度以降）

■大学院 経営学研究科 経営学専攻

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

【修士課程】

経営学研究科（修士課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。

（教育内容）

1. 経営学における経営学に関する、精深で高度な専門知識を修得するため、各専門科目の特殊講義を配置する。
2. 経営学における経済・社会や企業経営の変化に対応して自ら課題発見し、分析・解決できるように、指導教員の専門科目を必修科目として配置する。
3. 学生が修士論文の作成について必要な知識や技能を修得できるように「演習」を配置し、きめ細やかな研究指導体制を確立する。
4. 経営学コースでは、研究者養成と知識基盤社会を多様に支える知的教養ある人材の育成、会計学・税法コースでは高度職業人育成を目的に、上記1～3に取り組む。

（教育方法）

1. 講義科目では、経営学に関する精深で高度な専門知識を身につけることを目的とし、アクティブ・ラーニングを採用する。
2. 演習科目では、自ら課題を発見し、それを論理的に分析・解決する能力を向上させるため、アクティブ・ラーニングを取り入れた演習を採用する。
3. 指導教授が、きめ細やかな研究指導や論文執筆・発表の指導を行う。

（学修成果の評価）

経営学研究科（修士課程）では、本学における学修成果の評価方針（アセスメントポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。

1. 教育課程（メゾ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、留年率、卒業研究（修士論文・博士論文）の成果評価割合等により行います。
2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布により行います。

【博士後期課程】

経営学研究科（博士後期課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。

（教育内容）

1. 経営学におけるより一層精深で高度な専門知識を修得するため、各専門科目の特殊研究を配置する。
2. 経営学における経済・社会や企業経営の変化に対応して自ら課題を発見し、それを論理的に集約し、成果を公表できる能力を修得できるように、指導教員の専門科目を必修科目として配置する。
3. 2年次に「研究演習」を配置し学位論文執筆に向けたきめ細やかな研究指導を行う。

（教育方法）

1. 講義科目では、経営学に関する、より一層精深で高度な専門知識を身につけることを目的とし、アクティブ・ラーニングを採用する。
2. 演習科目では、経済・社会や企業経営の変化に対応して自ら課題を発見し、それを論理的に集約し、成果を公表できる能力を向上させるため、アクティブ・ラーニングを取り入れた演習を採用する。
3. 指導教授が、きめ細やかな研究指導や論文執筆・発表の指導を行う。
4. 論文作成支援のため、提出に先立ち論文指導委員会を設置し指導を行う。

（学修成果の評価）

経営学研究科（博士後期課程）では、本学における学修成果の評価方針（アセスメントポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。

1. 教育課程（メゾ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、留年率、卒業論文・卒業研究（修士論文・博士論文）の成果評価割合等により行います。
2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行います。